

# 電動ポイントレールでリアルな運転を楽しむ!

## デジQトレイン 通信-No.1

text: RMM/photo: 羽田 洋 (特記以外)  
取材協力: コナミ株式会社

5月29日、コナミ・デジQトレインの電動ポイントレールが発売される。鉄道模型をも驚かす高機能を持つデジQトレインだが、電動ポイントレールがラインナップに加わることで、そのシステムは完成の域に達したとすることができる。本誌読者の中には、これまでデジQトレインの発展を見守ってきた向きもあると思うが、今や入門の機は熟したと自信を持って申し上げたい。

前号では電動ポイントレールの特徴を中心にご紹介したが、いよいよ今月は電動ポイントレールを使った具体的な遊び方、実際に使ってみた印象を交えてお届けすることにしよう。

デジQトレインはリアルでコンパクト、そして高機能でありながらシンプルなのが特徴だ。その機能とコンパクトさを生かして、複雑なレイアウトで高度な運転を楽しむのには言わば「本道」と言えるだろう。電動ポイントレールが果たす役割は大きい。

ポイントの切り換えはコントローラーから発する赤外線信号によって行なう。コントローラーのLINE/POINTスイッチをPOINTの方に倒すと、上部の8つのLINEボタンがポイント切り換えに使えるようになる。ポイントの場合も車輛と同様、中央のID-SELECTスイッチで1~4のIDを選択でき、1つのIDに対して8つのラインがあるので、合計32基のポイント独自にコントロールできることになる。実用上十分すぎるぐらいの数と言えるだろう。

個々のポイントのID/ライン番号は自由に設定できる。これが実は非常に便利なのだ。レイアウトが大きく複雑になるほど、どのLINEボタンがどのポイントに対応するのかを頭に覚えておくのは大変になる。咄嗟にどのボタンを押せばいいのかわからずに列車が立ち往生ということにもなりかねない。特に毎回線路配置が変わるフロア運転ではなおさらだ。だがこのシステムなら、もっともわかりやすい配列に設



▲電動ポイントレールの切換にはコントローラー上部のボタンスイッチを使用。4つのIDに各8つのボタンが対応するので、合計32個のポイント(複数のポイントを同時切り換える場合はそれ以上)をコントロール可能だ。



▲ヤードから好きな編成を自在に出し入れできる楽しみも電動ポイントレールで実現。

デジQトレインの最新情報はこちらをチェック! <http://www.micro-ir.com/train/>



▲485系ボンネット特急通過! 電動ポイントレールの登場で、心地よい緊張感をともなった鉄道シーンを満喫できるようになった。

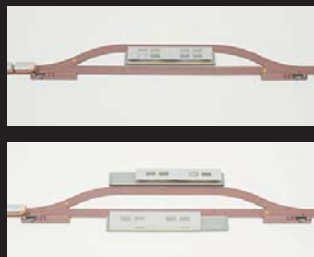
定することが簡単にできるのだ。

たとえば駅ごとに構内のポイントを別のIDに設定しておく。ある駅のポイント(ID-1)、次の駅のポイント(ID-2)という具合だ。コントローラーのLINEボタンの上の表示灯は1回押すと点灯、もう1度押すと消灯…の繰り返しで点滅するが、ポイントの直線側・分岐側のどちらで点灯するかは自由に設定できる。実物の鉄道と同様にポイントの定位・反位を決め、定位側で表示灯が消灯するようにしておけばわかりやすく、安全上も理にかなう。本当の意味でリアルな運転を行なうことができるのだ。

なお、渡り線などで2つ(あるいはそれ以上)のポイントと同時に切り換えたい場合も至極簡単。複数のポイントのID/ラインを同じに設定すればいい。このあたりはいくらでもカスタマイズできるので、もっとも使い易い配列を研究しよう。

ある程度以上に大きなレイアウトで運転を楽しむ場合、コントローラーを2台用意して片方を車輛の運転専用、片方をポイント切替専用とすることをおすすめしたい。要するに1つのコントローラーを車輛の運転台、もう1台をCTCボードとして機能させるわけだ。こうなると運転士と駅係員の役割を分け、実物の鉄道を凝縮したロールプレイングゲームとして楽しむなど、さらに発展的な遊び方が見えてくる。欧米の鉄道模型界で広く楽しられている時刻表やスケールタイムを使った高度な運転に挑戦してみたくなるのは筆者だけではあるまい。

豊富な車輛ラインナップに加えて、運転方面のシステムもいよいよ充実したコナミ・デジQトレイン。これまで模様眺めだった皆さんも、是非この面白さを確かめてみていただきたい。



▲デジQトレインには対向式ホーム、島式ホームの2種類の駅セットが発売されている。もちろんどちらも電動ポイントと組み合わせ使用することができる。



▲ある程度大きなレイアウトでは、車輛とポイントそれぞれのコントローラーを別に用意したい。操作が複雑にならずに済む上、複数のオペレーターによる「鉄道らしい」リアルな運転など、さらに発展的な遊び方にチャレンジするのも好都合だ。



▲電動ポイントレールの大きさは2種。分岐側の曲線半径が178mm、角度が45度のもの(R176・45°)と、曲線半径が264mm、角度が30度のもの(R264・30°) 価格は各1,980円。5月29日発売。



5月29日、電動ポイントレール発売と同時に発売される第4弾車輛は4種類。手前から新幹線300系、485系ボンネット、205系京葉線、キハ82系。各2,980円。その後の予定も目白押し。最新情報は欄外HPアドレスをこまめにチェックしていただきたい。

### デジQトレインファン集合! ラオックス鉄道フェア

来る5月23日(金)~25日(土)に秋葉原ラオックス・ホビー館&アンビットシティで「ラオックス鉄道フェア」が大々的に開催される。会場にはデジQトレインの全ラインナップはもちろん、今後発売される車輛たちも集結するというから見逃さない。デジQトレインの魅力を体感できるチャンスだ!